

～2025年度がスタートしました!～

2025 年度新学期がスタートし、多くの新入生を迎えた東海父母懇はますます意欲的に活動しています! 2025年度最初となる今号では、今年度就任した新代表からのご挨拶と1学期に行われた父母懇活動のご紹介、そして退任した事務局員のひとことをお届けします。

新代表からのご挨拶



父母代表：中野あゆみ

東海中高父母懇談会は、40 年以上の長きにわたり、社会の様々な変化を乗り越えながら活動を続けてこられました。その歴史の重みに、改めて深く感銘を受けております。そして、来年度から長年の念願であった高校授業料の無償化が決まり、一つの大きな転換期を迎えました。これまでの活動を支え、繋いでくださった歴代の皆さま、そして父母の皆さまには、心からの感謝と尽きぬ尊敬の念を抱いております。この活動が東海生一人ひとりの飛躍に繋がるよう、今後も努めてまいります。

東海中高父母懇談会が大切にしている理念である「ひとりぼっちの父母をつくらない」。この理念のもと、地域ごとの懇談会を通じて、父母の方々が気軽に語り合い、互いに知り合うきっかけとなる、心温ま

る交流の場を提供しております。学芸部では、毎年恒例のバスハイクに加え、先生方の豊かな知識と経験を活かした、多彩で魅力あふれる文化講座を年間3回開催し、毎回多くの方にご参加いただいております。参加者の皆さまからは、新たな発見や出会い、学びを感じられると大変ご好評いただいております。また広報部では、ウェブサイトや SNS を通じた迅速な情報発信、手作りの壁新聞を通じて、活動の様子をきめ細やかに、分かりやすく共有させていただいております。

その他にも様々な行事を企画しており、本年度も、たくさんの温かい出会いと、心豊かな学び、そして何よりも喜びをご用意し、父母の皆さまとともに楽しく過ごせることを願っております。今後とも、東海中高父母懇談会の活動へのご理解と、温かいご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

教員代表：谷中克年

東海中高父母懇談会は 1982 年 11 月に、「子ども達の人間らしい成長・発達を支えること」「公費助成をはじめ私学教育の発展の為に努力しあうこと」を目的として発足しました。父母・生徒・教員が手を取り合い、他の私学と協働で教育の場を豊かにする活動を積み重ね、43 年目を迎えました。長年父母懇のバトンをつないでくださった先輩諸氏のご尽力に、改めて敬意を抱くと同時に深く感謝申し上げます。

東海の地域懇は愛知・岐阜・三重の 28 地域で開催されております。昨年度は、コロナ禍からの完全復活と活性化を目指し、父母の皆さまが献身的に活動を盛り上げてくださったことで、コロナ禍以前のように多くの参加者が集うことができ、どの会場でも充実した会となりました。参加された皆さまからは「参加して良かった」「いいお話が聞けた」「同じ悩みを共有でき安心した」などといった感想が多く

出されています。地域懇を運営されている世話人の皆さまをはじめ、そこに参加して下さる全ての皆さまのおかげで地域懇は充実・発展し、東海の教育はさらに豊かになっていきます。



また、5月25日、第46回愛知県父母懇総会が行われ、東海中高からは、愛知県の私学で最多となる166名の方に参加していただきました。総会では、東海OBでもある愛知父母懇の日比野会長が、県議会各党団長が登壇するなか、「私学無償化に向かうこの状況

が生まれたことは、署名活動や陳情活動で頑張ってきた皆さんの長年の地道な活動が花開いたもの」と語られました。愛知私学は公教育の公私格差を是正するため、オータムフェスや請願署名など様々な形で助成金運動に取り組んできました。現在、私立学校経費の約半分は、国や県からの助成金で賄われています。東海を代表する市民参加行事「サタデープログラム」などの特色ある教育活動も、助成制度の恩恵を受けています。東海の特色ある教育を維持・発展させるうえで、この助成制度が大きな役割を果たしており、助成金の充実は、子どもたちの教育環境を良くすることに直結しているのです。

私学を選んでくれた生徒たちの笑顔をいつまでも守り抜き、輝く未来を保障すること、そして、彼らが安心して踏み出すことのできる社会をつくることは、私たち大人の責任であり、切なる願いです。こうした願いを実現するため、愛知の私学は手を取り合いながら、今までさまざまな活動をしてきました。そして東海父母懇は、この運動全体を牽引する存在になっています。このような点をご理解いただき、今後とも父母懇活動へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



1 学期父母懇行事ダイジェスト

新年度スタートと共に始まった盛りだくさんの行事に多数のご参加・ご協力ありがとうございました。行事レポートは父母懇ホームページの『**気まぐれ DIARY**』にも詳細を掲載しております。是非ご覧ください！

❖ 4/12(土) 地域合同世話人会



新たに幹事、世話人になられた皆さまに各地域よりお集まりいただき、合同世話人会が開催されました。

❖ 5/4(日祝) 新入生歓迎フェスティバル



愛知県高校生フェスティバル実行委員会が主催となり、愛知県中の中高生が新入生の入学をお祝いしました。

❖ 5/11(日) 東海中高父母懇談会総会



大勢の父母・教員・生徒の皆さまにお集まりいただき父母懇談会総会が開催されました。

元 THE BOOM の宮沢和史さんによる記念講演の他、制服リサイクルバザー、中1・高1分散会も行われました。

❖ 4月～5月 新入生歓迎会



28地域で新入生歓迎地域懇談会が開催されました。西三河地域では OB2名をゲストにお呼びし、東海時代の先生・友人・親子の関係や、大学受験の貴重な経験談を聞かせていただきました。

❖ 5/25(日) 愛知父母懇談会総会



日ごろより私学助成の充実に尽力していただいている議員の方々や各学園の代表、さらに地域の皆さまも参加され、会場は満席となりました。

一年間の活動をまとめた「壁新聞コンクール」では、東海父母懇の行事や思い出を、読みやすく華やかに表現し、第3位の受賞となりました。

❖ 6/8(日)

第一回文化講座

『和歌と書を楽しむ～やさしくふれる、かなの世界～』と題し、高校国語科瀬邊先生を講師にお迎えして開催されました。



❖ 6月 初夏のつどい



各地区で初夏のつどいが開催されました。多数の東海父母にも足を運んでいただき盛会となりました。

❖ 7/19(土)～21(月祝)

第36回 愛知サマーセミナー



戦後 80 年、平和と共生を創り出す「21 世紀型学び」と題し、名古屋中学高校、至学館高校を会場に開催されました。今年の東海父母懇の講座も参加者の皆さまに楽しんでいただくことができました。



事務局を“卒業”する父母から

ひとこと

安藤 阿礼さん (緑区担当)



東海父母懇事務局
局のお誘いをいただ
いてから、あっという間
に5年が過ぎました。この

たび無事に役目を終え、今は名残惜しさと寂しさで
胸がいっぱいです。

この5年間、どれほど多くの笑顔と温かな時間に
恵まれたことでしょうか。

「ひとりぼっちの父母をつくらない」という活動を通
じて、多くのご縁と絆をいただきました。私は決して
ひとりではありませんでした。

そして、魅力あふれる先生方のご指導とお人柄、
東海の素晴らしさにも日々触れ、感謝の気持ちが尽
きません。支えてくださったすべての皆さまに、心より
御礼申し上げます。

堀江 朋世さん (千種区担当)



そう、あれは3年前の
ある晴れた日。

突然降りかかってき
た『東海中高父母懇談
会の事務局』の話。友

人が少なく、日頃、隅っこ日影を好む私には、眩し
すぎる世界。「とりあえず1年」という口約束で事務
局の世界に足を踏み入れたのだった。

ご存じの通り、父母懇には多くの行事がある。皆
その日のために、仕事や家事をしながら、時には寝
る間を惜しんで準備をする。何事にも全力で取り組
み、楽しんでいるその姿に強く心を打たれた。

行事が終わった後の達成感は、言葉では表現で

きない。昔、学生時代に味わった感覚に似ていた。
敢えて言うなら『青春』なのである。

「とりあえず」の1年が、気づけば3年も経ってい
た。月1の役員会に行けば元気と勇気をもらえた。
“〇〇くんのお母さん”ではなく、互いを名前やニッ
クネームで呼びあい、ひとりの人間として尊重し合え
た。そんな仲間に出会えたことに心から感謝してい
る。

そして卒業した今、次の『青春』を模索中である。

西田 由起子さん (岐阜地区担当)



息子が学校でお世話
になっている恩返しがで
きればという思いで引き
受けた事務局活動でした
が、本当にたくさんの思い出ができました。

さまざまな行事に参加し続けることによって、父母
懇行事の目的が理解できるようになり、より深く行
事に協力することができるようになりました。

また、事務局のメンバーや先生方が、「息子のお
母さん」ではなく、私個人と仲良くなって一緒に活動
してくださったのが、本当に嬉しかったです。

そして、みんながいろいろな素晴らしい才能を持
っていて、私はそれを発見するのが大好きでした。私
にとって事務局は、誰もが素敵に輝くことができる
宝石箱みたいな場所でした。一生忘れられないプレ
ゼントをいただいたような気持ちでいます。ありが
うございました。





まさに諸行無常!

編集後記

息子も高校3年生となり、何をするにも「最後の」という枕詞が付くようになりました。母である私にとっても、すべての行事が最後の参加となる、、、かと思いきや、今年のサマセミにも多くの卒業父母の顔が！そうです、「父母懇に卒業はない」のでした。

来年の夏は「東海生の母」ではなく「元東海生の母」として、現役の皆さんに会えるのが楽しみです。

暑い夏が続きますが、皆さまご自愛ください。

広報部